

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	児童発達相談支援事業所 さつき園	施設 種別	障害児通所施設（児童発達支援/放課 後デイ）（保育所等訪問） 障害児相談支援 （旧体系： ）
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成28年 4月26日

総 評	<p>「さつき園」は平成8年に丹後地区初の障害児通園施設として開設されました。母子通園とあわせ、こどもと一对一の個別支援を丁寧に行い、保護者支援を含めた療育としてこれまで実践を重ねられてきました。</p> <p>施設長は開設当初から働いておられ、スタッフは施設長を信頼し安心して働けると同時に、地域の保護者からも頼りにされています。</p> <p>反面、次世代につないでいくという課題もお持ちと推測できました。</p> <p>訪問調査の中において、職員の笑顔が印象的で「先輩からアドバイスがもらえる」という声もあり、職員が働きやすい環境があることが伺えました。</p> <p>親子での通園では家庭での育児のポイントや実践できる療育方法などのアドバイスがなされ、日頃の関わり方について、より具体的に伝達できるシステムがありました。</p> <p>今回の評価では、前回の評価を踏まえ改善された点が多く見受けられ、第三者評価に対する真摯な姿勢は評価できます。</p> <p>近年、地域の母子保健の充実と共に利用希望者が増えている現状があり、加えてこどもの障害が多様化し、質的な変化もあり、より広い専門性を求められる面では、療育のスタイルも含め検討の余地があると考えられます。高い専門性を期待される事業であり、今後はますます高度な取り組みが必要とされていくと考えられます。高機能の自閉症やADHDのお子さんに対して実施する「ソーシャルスキルトレーニング」や保護者への「ペアレントトレーニング」などの取組も含め、今までの実践を土台として、さらなる発展を期待しております。</p>
-----	--

<p>特に良かった点(※)</p>	<p><b>Ⅱ－２－（２）①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。</b>  法人で次世代育成計画に取り組む中で職員が働きやすい職場環境づくりを目指し法人全体で取り組まれています。職場環境や職務に関する全職員に対するアンケートも実施し、職員の意見を反映できる工夫をされています。現在、育児休暇が三年まで取れることになっています。バースディ休暇等、有給休暇の取得率を上げるための工夫をされています。</p> <p><b>Ⅲ－１－（１）①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。</b>  ホームページに園の紹介として写真を多用して分かりやすく提示したり、園の概要のパンフレットを作成し、保健所や医療機関、相談支援事業所や関係者などに配布して、利用希望者に情報が届くようにされています。自立支援協議会で作成された事業所マップに掲載され、さつき園の存在を広く地域の住民の目に届くようにしています。随時、見学、体験等を実施しています。</p> <p><b>Ⅲ－３－（２）①障害のある本人（家族・成年後見人等含む）が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</b>  意見や要望を「あなたの声を聞かせてください」とい意見箱を保護者の集うホールに設置し、意見が出しやすい工夫をされました。相談カード、苦情受付窓口等を記載した大きなポスターが掲示され、誰もが目につきやすい工夫をしていました。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p><b>Ⅱ－４－（１）②災害時に対する障害のある本人の安全確保のための取り組みを行っている。</b>  災害時に関するマニュアルを整備し、火災、地震、水害等に対する防災訓練を行っています。ただ、建物自体の耐震診断を受けておらず、移転の計画もあるとお聞きしましたが、老朽化もあり、早急な対応が求められます。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【障害事業所版】 評価結果対比シート

受診施設名	児童発達相談支援事業所 さつき園
施設種別	障害児相談支援障害児通所施設 (児童発達支援/放課後デイ)(保育所等訪問) 障害児相談支援
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	平成29年2月24日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-1(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が役員及び職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が障害のある本人(家族・成年後見人等含む)に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 事業計画の策定について	① 各年度計画を策定するための基礎となる中期(概ね3年)もしくは長期(概ね5年以上)計画が策定されている。	A	A
		② 事業計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		③ 事業計画が職員に周知されている。	A	A
		④ 事業計画が障害のある本人(家族・成年後見人等含む)に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みにリーダーシップを発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みにリーダーシップを発揮している。	A	A

【自由記述欄】				
I-1-1(1)	<p>① 法人の理念はホームページに掲載し、事業所内にも掲示されている。内容については障害者福祉の基本的な考え方を示している。</p> <p>② 理念に基づく基本方針がホームページに掲載され、利用される方が目に触れやすいブレイルームに掲載し、事務室にも掲示している。</p>			
I-1-1(2)	<p>① 理事会評議委員会にて事業計画を含めて理念・基本方針を説明している。職員は、理念・基本方針を確認してから事業計画策定にあたっている。法人のキャリア別研修時に理事長から理念の説明を行っている。</p> <p>② 重要事項説明書に明記し、契約時に説明を行っている。保護者の特性、状況に合わせ、訪問等も含め説明を行っている。(外国人の親等)ブレイルームにカラフルにわかりやすく掲示している。</p>			
I-2-1(1)	<p>① 法人及びさつき園の中長期計画を策定している。それに基づいて単年度計画が策定されている。</p> <p>② 事業計画の策定には年度の反省と利用者アンケートをもとに職員全員で行っている。事業計画の進捗、執行状況の確認を半年ごとに行ない、理事会に報告をしている。</p> <p>③ 事業計画は職員全員がかかわって策定されており、周知できている。</p> <p>④ 園たよりやブレイルームでの掲示にて周知を図っている。年度目標は利用者アンケートにて達成と満足度を調査している。そのことで事業計画の周知の状況把握ができています。</p>			
I-3-1(1)	<p>① 職務基準書や職務分掌、重要事項説明書にて役割と責任についてを文章化している。園たよりの職員紹介に職員の仕事について説明している。</p> <p>② 施設長会や研修にて法令に関する学習を行っている。事業を管理する上で法令上のリスト化の取り組みを法人で行っている。</p>			
I-3-1(2)	<p>① 年度目標を点検する独自の点検表を用い、年に一度行っている。他事業所の苦情等のケースを用いたミーティングを実施している。職員のモチベーション、チームワーク向上を目的に毎朝一分間スピーチを実施している。</p> <p>② 職員が予算計画を策定し、担当別に事業費、事務費の管理を行っている。管理者と主任が職員の業務量を把握し、過度な業務にならないよう配慮している。</p>			

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見し、改善を行っている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-1(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立し、職員のやる気向上に取り組んでいる。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-2(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行なっている。	A	A
	II-2-3(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		A	A	
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行なっている。		A	A	
II-2-4(4) 実習生の受け入れが適切に行なわれている。	① 社会福祉に関する資格取得のための実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	B	A	
II-3 個人情報の保護	II-3-1(1) 障害のある本人等の個人情報を「個人情報保護法」に基づき適切に管理している。	① 障害のある本人等の個人情報を「個人情報保護法」に基づき適切に管理している。	A	A
II-4 安全管理	II-4-1(1) 障害のある本人の安全を確保するための取り組みが行なわれている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)における障害のある本人の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 災害時に対する障害のある本人の安全確保のための取り組みを行っている。	B	B
		③ 障害のある本人の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-5 地域や家族との交流と連携	II-5-1(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 障害のある本人と地域とのかかわりを大切にしている。	B	非
		② 地域の福祉ニーズを把握し、事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-5-2(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 障害のある本人を支援するため、必要な社会資源や関係機関を明確にして連携している。	A	A
		② 家族との定期的な連携・交流の機会を確保している。	A	A

【自由記述欄】				
II-1-1(1)	①法人内の障害部門プロジェクト会議にて社会状況の情報収集や利用者のニーズ把握に努めている。市の自立支援協議会に参加し、地域の実態について課題の把握と発信を行っている。 ②利用者の推移や利用率の分析などを職員全員で行い、二か月毎の理事会に報告している。改善すべき課題については職員会議で随時協議している。公認会計士のアドバイスを受けている。			
II-2-1(1)	①人事考課制度を導入している。経験年齢別の望ましい職務行動のチェックシートを用いてセルフチェックを実施している。それをもとに人事考課の面談を行っている。			
II-2-2(2)	①法人が次世代育成計画に取り組む中で職員が働きやすい職場環境づくりを目指している。全職員に対するアンケートも実施している。育児休暇が三年まで取れることになっている。パースディ休暇等、有給休暇の取得率を上げるために工夫をしている。			
	②民間社会福祉職員共済会に加入している。健康診断やインフルエンザ予防接種に対する補助がある。メンタルヘルスの研修を法人で実施している。ソウェルクラブの外部カウンセラーを紹介している。			

II-2-(3)	<p>①法人で研修体系が明記され、職員研修計画が策定されている。職員は児童教育や保育の資格をもって入職している。</p> <p>②職務階層ごとに研修内容を定めている。個人の研修計画が個別研修計画として策定されている。キャリアパス制度を導入しようとしている。</p> <p>③研修に参加した職員は研修報告を提出し、伝達研修も実施している。個々の研修計画に沿った研修の成果を年度末に自己チェックし、上司が評価分析を行っている。</p>
II-2-(4)	<p>①実習の受け入れに関するマニュアルが整備され、基本姿勢が明文化されている。社会福祉士実習指導者の研修を受けた職員が法人内におり、対応している。</p>
II-3-(1)	<p>①個人情報管理規定、文書取り扱い規定が策定され、廃棄や開示について明記されている。契約書に個人情報の取り扱いについて明記されており、取り扱いの同意書を付帯している。</p>
II-4-(1)	<p>①安全・事故予防マニュアル、感染症対応マニュアル等が整備されており、それに沿った研修や訓練等を実施している。AEDの研修等は消防署を招き実施するとともに避難訓練を実施している。防犯に対するマニュアルも整備しており、職員は警備会社に通報する防犯ベルを持参している。</p> <p>②災害時に関するマニュアルを整備しており地震、水害等に対する訓練を行っている。耐震診断を受けていない。(移転の計画がある。)</p> <p>③ヒヤリハット、事故報告書をもとに職員間で検討している。</p>
II-5-(1)	<p>①非該当</p> <p>②相談支援事業を併設している。地域住民に対する相談に応じている。</p> <p>③ボランティア受け入れマニュアルを整備し、ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明記している。地域との関わり方についての基本的な考えを文章化している。</p>
II-5-(2)	<p>①関係機関についてリスト化を行っている。利用者への必要な社会資源についてはファイル化し、家族にも情報が伝わるようにプレイルームで自由に閲覧できるようにしている。</p> <p>②保護者同伴の通園であり、連携や交流は図りやすい状況である。保護者のみの相談の機会も持てるようにしている。</p>

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 サービス開始・継続	Ⅲ-1-1(1) サービス提供の開始が適切に行なわれている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A	
		② サービスの提供を始めるにあたり障害のある本人等(家族・成年後見人等を含む)に説明し同意を得ている。	A	A	
	Ⅲ-1-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行なわれている。	① 支援内容の変更や暮らしの場の変更にあたり生活の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
Ⅲ-2 個別支援計画の作成とサービス提供手順	Ⅲ-2-1(1) 障害のある本人のアセスメントが行なわれている。	① アセスメントとニーズの把握を行っている。	A	A	
		Ⅲ-2-2(2) 障害のある本人に対する個別支援計画の作成が行われている。	① 個別支援計画を適正に作成している。	A	A
		Ⅲ-2-2(3) 個別支援計画のモニタリング(評価)が適切に行われている。	① 定期的に個別支援計画のモニタリング(評価)を適切に行っている。	A	A
		Ⅲ-2-2(4) サービス実施の記録が適切に行なわれている。	① 障害のある本人に関するサービス実施状況の記録が適切に行なわれている。	A	A
		② 障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 障害のある本人の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 障害のある本人本位の福祉サービス	Ⅲ-3-1(1) 障害のある本人ニーズの充足に努めている。	① 障害のある本人ニーズの把握を意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 障害のある本人ニーズの充足に向けた取り組みを行なっている。	A	A	
	Ⅲ-3-1(2) 障害のある本人が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 障害のある本人(家族・成年後見人等含む)が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 障害のある本人(家族・成年後見人等含む)からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
Ⅲ-4 サービスの確保	Ⅲ-4-1(1) サービスの一定の水準を確保する為の実施方法が確立されている。	① 提供するサービスについて一定の水準を確保する為の実施方法が文書化されサービス提供されている。	A	A	
		② 一定の水準を確保する為の実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
	Ⅲ-4-1(2) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行なわれている。	① サービス内容について定期的に評価を行なう体制を整備している。	A	A	
		② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A	A	

[自由記述欄]				
Ⅲ-1-1(1)	①ホームページやパンフレットを作成し、保健所や医療機関等に配布している。また相談支援事業所や関係者などに伝えている。事業所マップに掲載されている。見学、体験等を実施している。			
	②利用契約書、重要事項説明書を整備し、利用契約時に取り交わしを行っている。通所にかかる料金等も説明を行っている。			
Ⅲ-1-1(2)	①就学のためサービスが終了する場合は、その後も家庭での取り組みを口頭と書面で説明している。他事業所への移行の場合も支援ファイル(にじいろノート)を活用している。			
Ⅲ-2-1(1)	①アセスメントの手順書を作成し、それに基づいたアセスメントを実施している。KIDS発達スケールと行動観察、保護者からの聞き取りをもとに支援の計画を立てている。			
Ⅲ-2-1(2)	①発達指数や行動特性を考慮して保護者の移行を把握しながら支援計画の作成を行っている。アセスメント手順に基づき、計画の見直し等を行っている。			
Ⅲ-2-1(3)	①定期的に計画の評価、見直しを複数の職員で行っている。支援計画を意識した観察記録を行っている。			

Ⅲ-2-(4)	<p>①記録を行うためのマニュアルを作成し、それに基づき、書き方に差異が出ないようにしている。</p> <p>②個人情報保護規定、文書取り扱い規定に基づいて個人情報についての取り決めを行っている。管理責任者を設けている。法人研修にて記録に関する研修を行っている。</p> <p>③利用者の情報についてはホワイトボードや日に3回の申し送りにて共有している。PCのネットワークを利用している。</p>
Ⅲ-3-(1)	<p>①重要事項説明書に明記している。個別面談、2か月に一度の保護者学習会を実施し、保護者との交流を行っている。</p> <p>②療育内容等に関する保護者アンケートを実施し、結果の分析を行い、支援内容に反映されている。</p>
Ⅲ-3-(2)	<p>①意見や要望を「あなたの声を聞かせてください」と表示し、相談カードと意見箱を設置している。苦情受付窓口等を記載したポスターが掲示されている。</p> <p>②苦情解決の体制・仕組みが整備され、重要事項説明書に明記されている。ホームページにて公表を行っている。</p> <p>③意見対応マニュアルを作成し、それに沿った対応を行っている。前年度のアンケート結果を次年度のアンケートに記載している。</p>
Ⅲ-4-(1)	<p>①「職員の基本的行動について」「個別指導マニュアル」に沿って支援を実施している。</p> <p>②職員の業務に関するマニュアルが整備され、年に一度見直しを行っている。</p>
Ⅲ-4-(2)	<p>①「働きやすい・働き甲斐のある職場づくりのチェックシート」を用いて個々の職員が支援内容の自己評価を定期的実施している。</p> <p>②自己評価に基づく改善点を次年度の事業計画に盛り込んでいる。</p>

#### IV 障害のある本人を尊重した日常生活支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 障害のある本人を尊重した日常生活支援	IV-1-1 障害のある本人を尊重する取り組みがなされている。	① 障害のある本人を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。(プライバシーへの配慮)	A	A
		② コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	A	A
		③ 障害のある本人の主体的な活動を尊重している。	非	非
IV-2 日常生活支援	IV-2-1 清潔・みだしなみ	① 【入浴】入浴について障害のある本人(家族・後見人等含む)の希望を尊重したサービスが提供されている。	A	A
		② 【衣服】衣服について障害のある本人(家族・後見人等含む)の希望を尊重したサービスが提供されている。	A	A
		③ 【理美容】理美容について障害のある本人(家族・後見人等含む)の希望を尊重した選択を支援している。	A	A
	IV-2-2 健康	① 【睡眠】安眠できるように配慮している。	A	A
		② 【排泄】障害のある本人の状況に合わせた排泄環境を整えている。	A	A
		③ 【医療】障害のある本人の健康を維持する支援を行っている。	A	A
	IV-2-3 食事	① 【食事】楽しい食事ができるような支援を行っている。	A	A
	IV-2-4 日中活動・はたらくことの支援	① 障害のある本人の意思を尊重した日中の活動の取り組みを行っている。	A	A
	IV-2-5 日常生活への支援	① 障害のある本人の意思を尊重した日中の活動の取り組みを行っている。	非	非
		② 事業所の外での活動や行動について障害のある本人の思いを尊重した取り組みを行っている。	A	A
	IV-2-6 余暇・レクリエーション	① 障害のある本人の意思を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような余暇、レクリエーションの取り組みを行っている。	A	A

#### 【自由記述欄】

IV-1-1(1)	①倫理要領や業務マニュアル、プライバシー保護規定等に明文化している。虐待についての取り組みを通して理解を深めている。 ②発達の段階に応じて意思や意図をくみ取る方法としてカードや視覚的支援を用いている。 ③非該当。
IV-2-1(1)	①入浴の状況に対して日常的に配慮し、必要に応じて入浴支援の相談を受けることがある。 ②衣服に対するこだわりや気温に合わせた衣服の選択に対する家族からの相談を受けることがある。 ③散髪を嫌がるこどもに対する家族の相談を受けている。
IV-2-2(2)	①活動中のこどもの様子から、家での睡眠状況に配慮し、必要に応じて相談を受けている。 ②個々の発達にそった排泄に対して配慮し、必要に応じてアドバイスや相談を受けている。 ③医療の状況に対して配慮し、必要に応じて相談を受け、意思の紹介等も行うことがある。
IV-2-3(3)	①食事の状況に対して配慮し、必要に応じて食事の相談を受けることがある。
IV-2-4(4)	①活動メニューを特性に合わせて実施している。活動しやすい環境を整えている。
IV-2-5(5)	①非該当。 ②公共の場におけるマナー学習を実施している。交通安全教育も行っている。
IV-2-6(6)	①保育所での余暇に参加しやすいようなアドバイスを行っている。